

インベスコ 世界厳選株式オープン

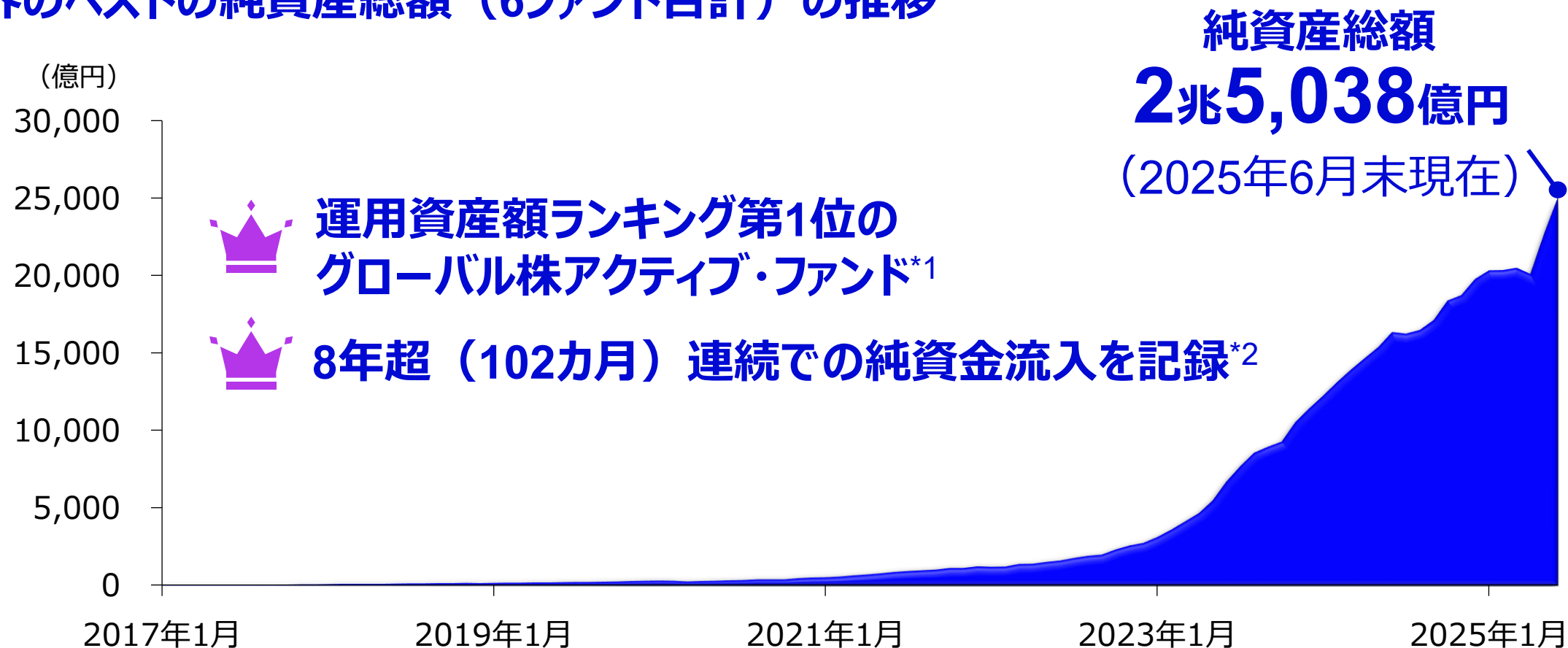
<為替ヘッジあり>（毎月決算型）／<為替ヘッジなし>（毎月決算型）
<為替ヘッジあり>（年1回決算型）／<為替ヘッジなし>（年1回決算型）

愛称：世界のベスト



世界のベストの純資産総額の推移

世界のベストの純資産総額（6ファンド合計）の推移



*1 2025年6月末現在 出所：QUICK資産運用研究所調べ 国内公募の追加型株式投資信託（ETF、ラップ・SMA専用、DC専用を除く）を対象にQUICK資産運用研究所による分類（地域：海外および内外、分類：グローバル株式および先進国株式（グローバル）のアクティブ型）におけるファンド純資産総額の順位。決算回数や為替ヘッジの有無など複数のコースが存在するファンドを合算して比較したもの。

*2 2025年6月末現在 出所：インベスコ 運用資産額および純資金流入は6ファンドの合計。純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。連続期間は2017年1月～2025年6月。

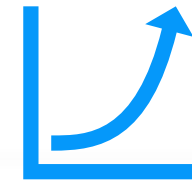
出所：インベスコ グラフ期間：2017年1月末～2025年6月末 上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

世界のベストの魅力

1 株式投資の王道



2 好調なパフォーマンス



3 差別化されたポートフォリオ



運用チームが考える主な投資機会

世界のベストの魅力

1 株式投資の王道



2 好調なパフォーマンス



3 差別化されたポートフォリオ



運用チームが考える主な投資機会

株式投資の王道 | 3つの柱



景気動向に左右されずに
成長が期待できる企業



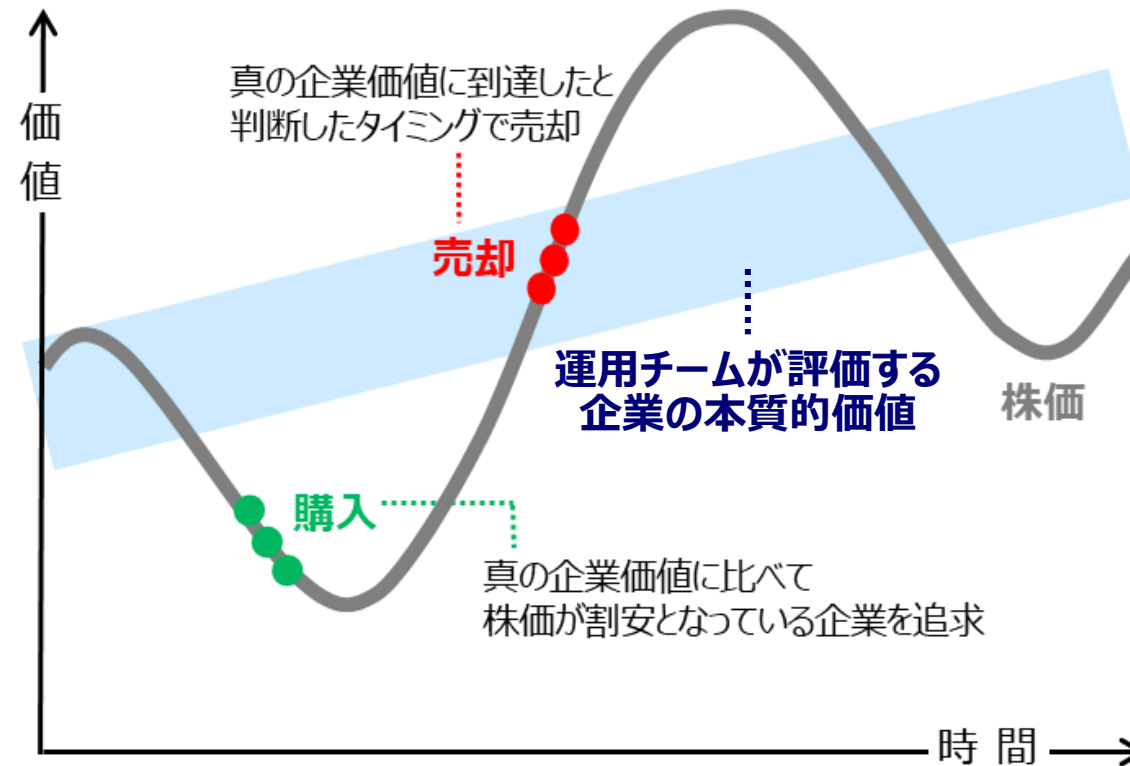
質の高い配当を行うことが
期待できる企業



株価水準が割安であると
判断する企業

ヘンリー拠点の「コントラリアン・アプローチ」

長期的な視点と自由な発想をもとに、
市場で見過ごされている魅力的な投資機会の探求を行う運用チームの基本的投資姿勢



上図はイメージです。より魅力的な投資機会が見つかった場合やポートフォリオ全体のリスク水準を調整する際には、真の企業価値に到達しない水準で売却を行うことがあります。

世界のベストの魅力

1 株式投資の王道



2 好調なパフォーマンス



3 差別化されたポートフォリオ

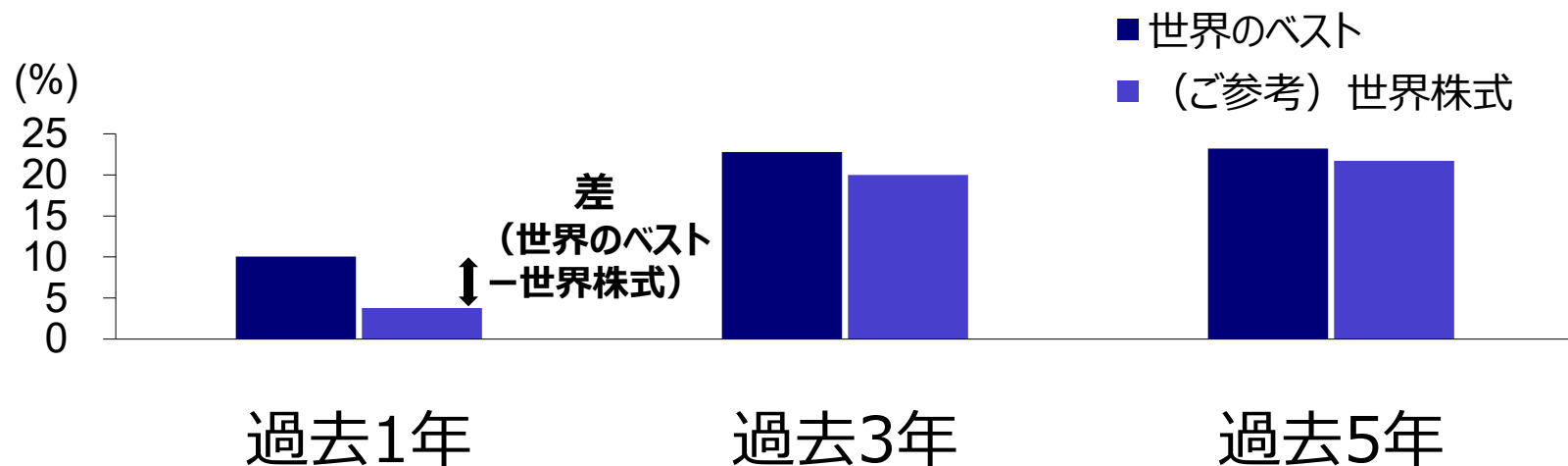


運用チームが考える主な投資機会

世界のベストの運用実績

世界のベスト＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）のパフォーマンス（年率）

2025年6月末現在



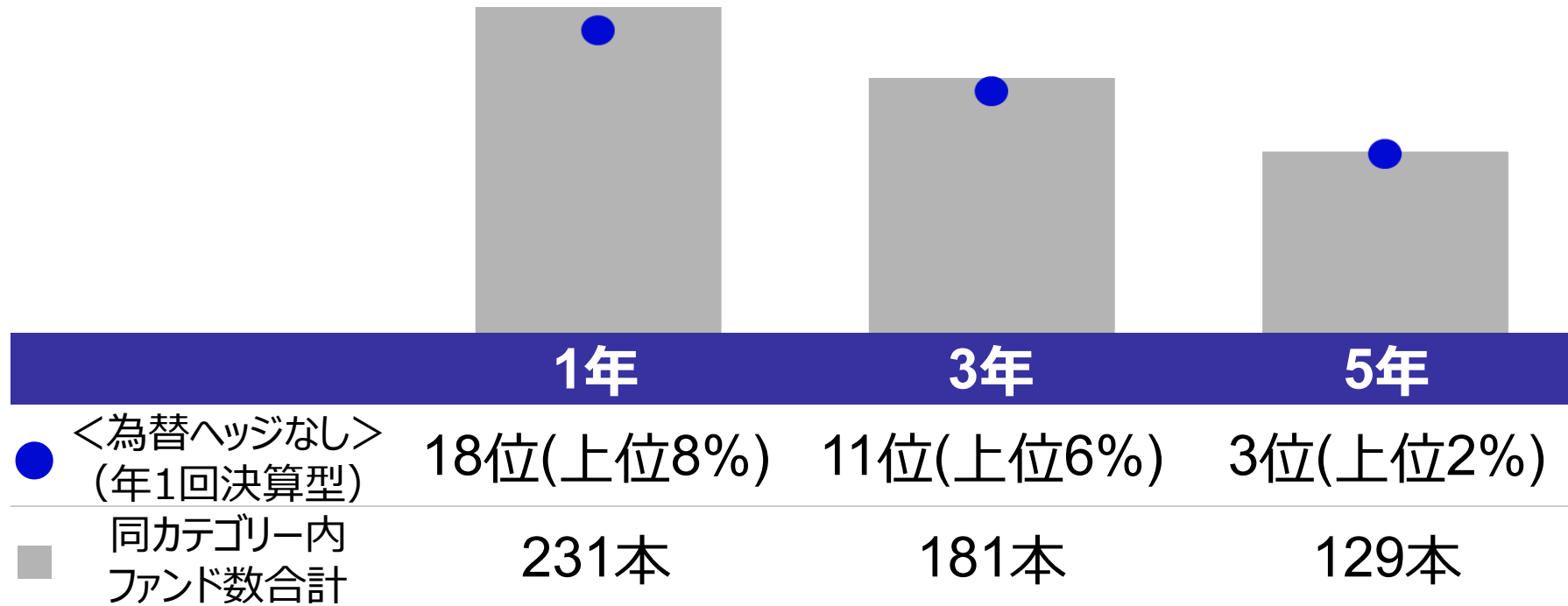
	過去1年	過去3年	過去5年
世界のベスト	10.1%	22.8%	23.2%
(ご参考) 世界株式	3.8%	20.0%	21.7%
差 (世界のベスト－世界株式)	6.3%	2.8%	1.5%

出所：インベスコ、ブルームバーグ 世界のベストは、インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）、世界株式はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み）。世界株式は、ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社で円換算しています。パフォーマンスは、基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）の年率リターンを使用しています。世界のベスト＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）とその他のファンドの設定来の運用実績は「設定来の基準価額推移」をご参照ください。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

同カテゴリー・ファンドとの比較*

モーニングスターカテゴリー・ランキング

2025年6月末現在



出所：インベスコ、モーニングスター・ダイレクト

*分析ツールのモーニングスター・ダイレクトが分類する「日本 オープンエンド - 外国株式・世界」カテゴリー内の為替ヘッジなしのファンドを対象として、2025年7月1日現在において確認可能な情報で比較したものです。知的財産権はモーニングスター・インクに帰属します。世界のベスト<為替ヘッジなし>（年1回決算型）とその他のファンドの設定来の運用実績は「設定来の基準価額推移」をご参照ください。パフォーマンスは、基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）の年率リターンを使用しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

差別化されたリターンの源泉

パフォーマンスへの貢献銘柄トップ10（5年間：2020年6月末～2025年6月末、円ベース）

世界のベスト 騰落率：183.9%

	銘柄名	国	業種
1	3iグループ	英国	金融
2	ブロードコム	米国	情報技術
3	マイクロソフト	米国	情報技術
4	プログレッシブ	米国	金融
5	JPMorgan・チェース・アント・カンパニー	米国	金融
6	ロース・ロイス・ホールディングス	英国	資本財・サービス
7	テキサス・インスツルメンツ	米国	情報技術
8	スタンダードチャータード	英国	金融
9	アルファベット C	米国	コミュニケーション・サービス
10	アシュテッド・グループ	英国	資本財・サービス

世界株式 騰落率：167.0% マグニフィセント7

	銘柄名	国	業種
1	アップル	米国	情報技術
2	エヌビディア	米国	情報技術
3	マイクロソフト	米国	情報技術
4	アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス
5	メタ・プラットフォームズ A	米国	コミュニケーション・サービス
6	アルファベット A	米国	コミュニケーション・サービス
7	アルファベット C	米国	コミュニケーション・サービス
8	テスラ	米国	一般消費財・サービス
9	ブロードコム	米国	情報技術
10	JPMorgan・チェース・アント・カンパニー	米国	金融

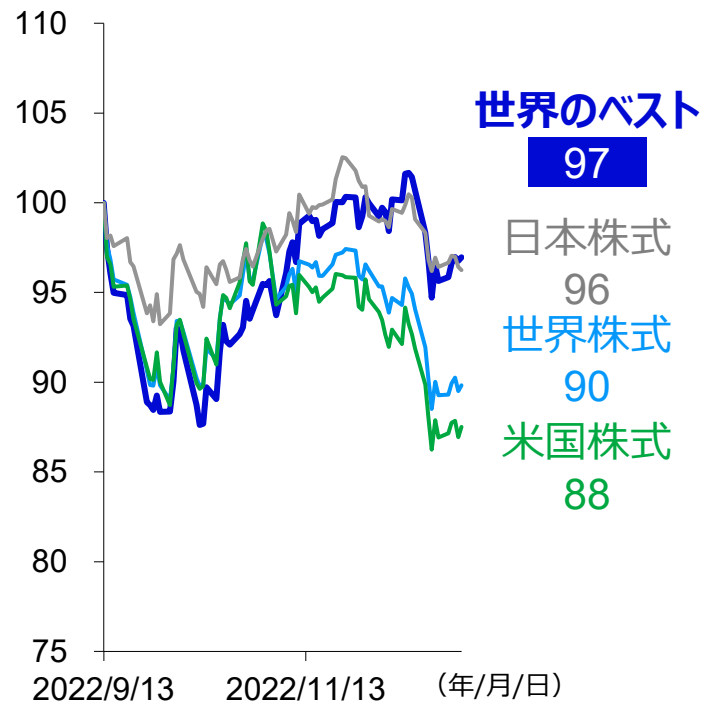
出所：インベスコ、ブルームバーグ、FactSet *グーグルの親会社アルファベット、アップル、フェイスブック（現メタ・プラットフォーム）、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフト、テスラ、エヌビディア 世界のベスト騰落率は＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用しています。世界株式は、MSCIワールド・インデックスを使用（騰落率は、税引後配当込み、円換算ベースのもの。当ファンドの基準日の前日の数値を用いています）。銘柄名の後に記載のA、Cは、議決権数の違い等による議決権種類株式の種別を示します。世界のベストは、マザーファンドのデータを使用。世界株式との相对比较ではなく、絶対値ベース寄与度の上位銘柄。国は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

世界のベストと主な市場のパフォーマンス（円ベース）

割安・配当にも着目し、ポートフォリオを分散することにより下値を抑制

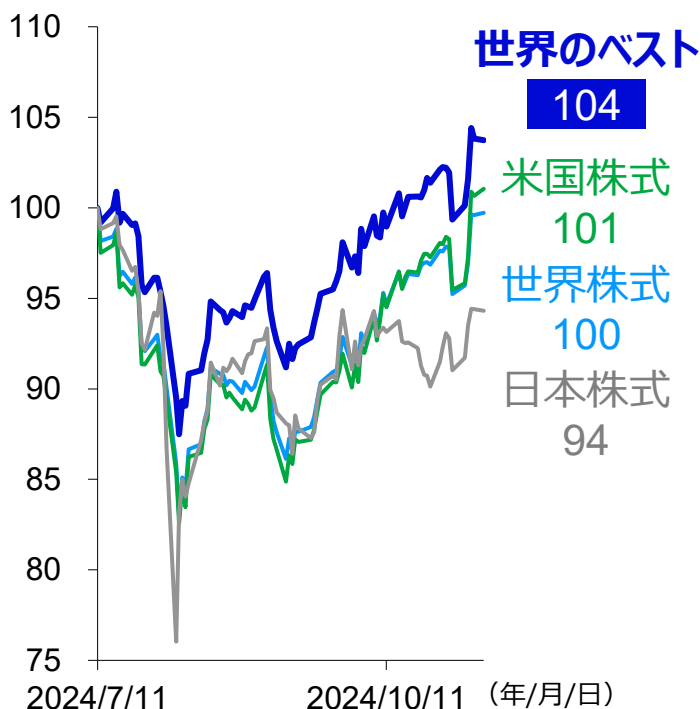
2022年の下落局面

期間：2022年9月13日～2022年12月末
（2022年9月13日を100として指数化）



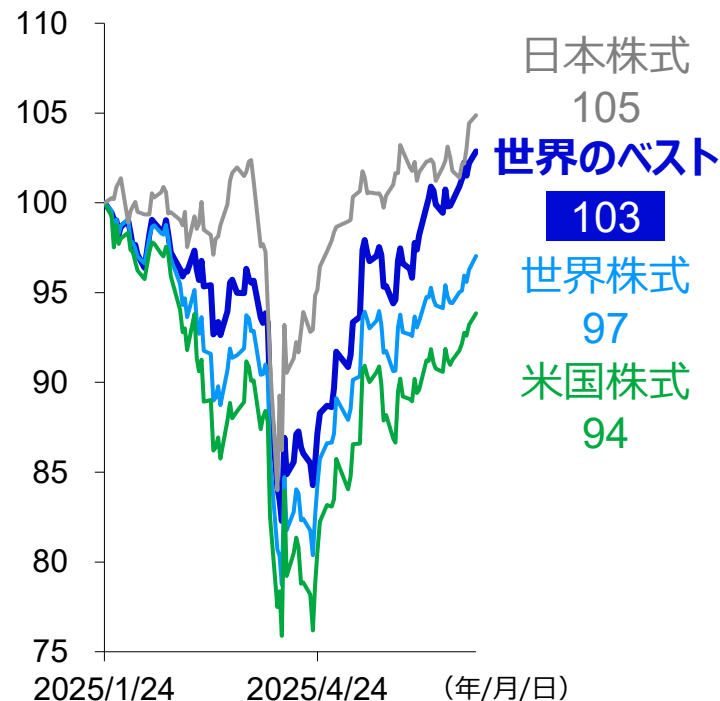
2024年の下落局面

期間：2024年7月11日～2024年11月11日
（2024年7月11日を100として指数化）



2025年の下落局面

期間：2025年1月24日～2025年6月30日
（2025年1月24日を100として指数化）



出所：インベスコ、ブルームバーグ

下落局面はMSCIワールド・インデックス（円換算ベース）の最高値からドロウダウンが開始した日を起点とし、当該年末（2025年は6月末まで）もしくは、世界株式が最高値を更新する前日を終点として計算。

世界のベストは＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用。世界株式：MSCIワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株式：S&P500指数（米ドルベース）、日本株式：TOPIX、すべて配当込み。米ドルベースの指数は、当ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

世界のベストの魅力

1 株式投資の王道



2 好調なパフォーマンス



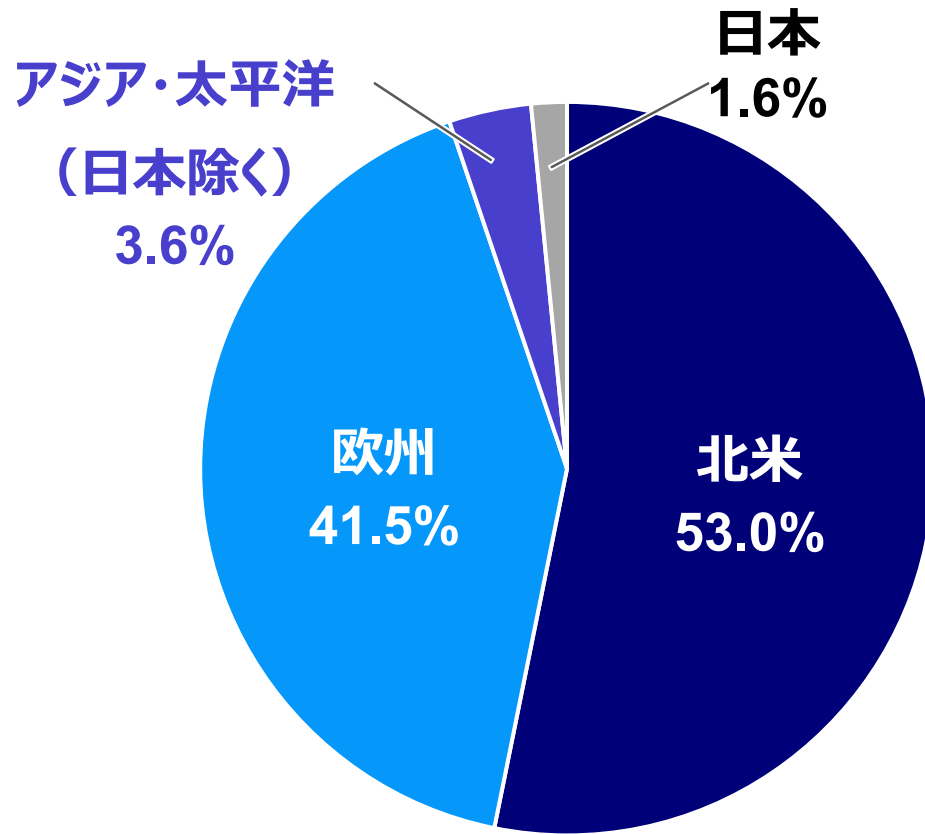
3 差別化されたポートフォリオ



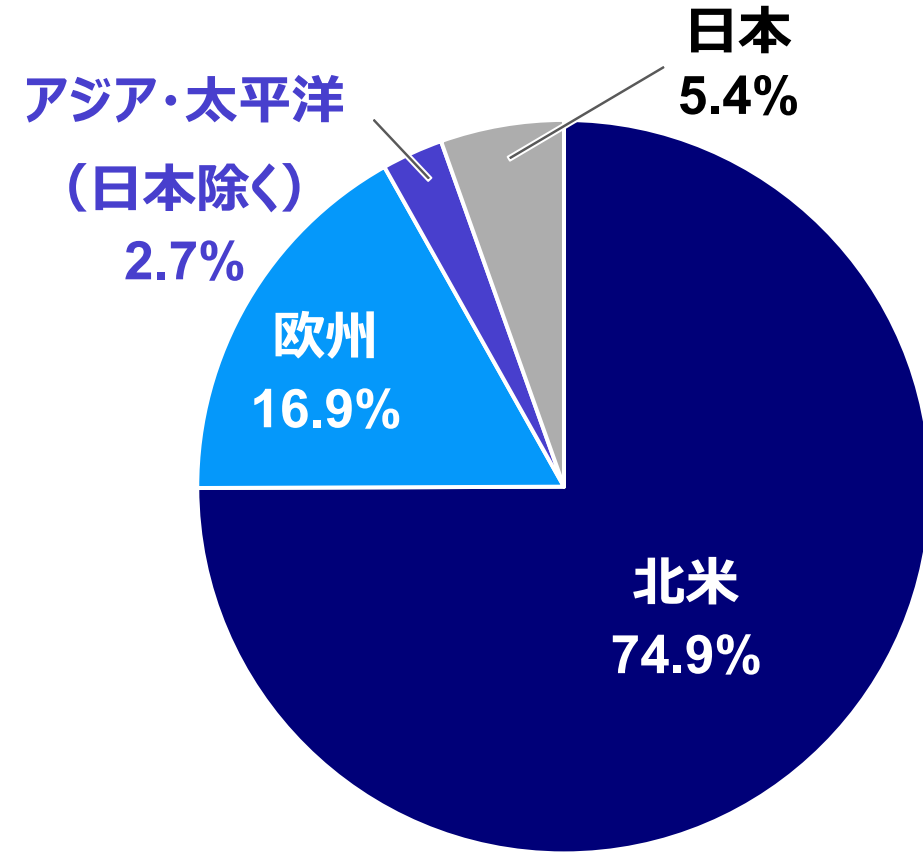
運用チームが考える主な投資機会

国・地域別構成比率（2025年6月末現在）

世界のベスト



世界株式



出所：インベスコ、FactSet 上記は世界のベストのマザーファンドのポートフォリオのデータを使用しています。比率は対純資産比率です。国・地域は発行体の国籍（所在国）などで区別しています。欧州にはアフリカ・中東が含まれます。世界株式はMSCIワールド・インデックスです。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

業種別構成比率（2025年6月末現在）

世界のベストの業種別構成比率

業種	世界のベスト（%）	世界株式との差異（%）
資本財・サービス	30.1	18.7
金融	24.6	7.5
不動産	2.2	0.2
生活必需品	5.3	-0.6
エネルギー	2.3	-1.2
公益事業	0.0	-2.6
ヘルスケア	6.7	-2.8
素材	0.0	-3.2
コミュニケーション・サービス	4.0	-4.4
一般消費財・サービス	5.5	-4.7
情報技術	18.8	-7.3

出所：インベスコ、FactSet 上記は世界のベストのマザーファンドのポートフォリオのデータを使用しています。比率は対純資産比率です。世界株式はMSCIワールド・インデックスです。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

組入上位10銘柄（2025年6月末現在）

世界のベストの組入上位10銘柄

銘柄数：42

銘柄名	国・地域	業種	純資産比
1 ロールス・ロイス・ホールディングス	英国	資本財・サービス	6.0%
2 マイクロソフト	米国	情報技術	5.6%
3 3iグループ	英国	金融	5.5%
4 カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ	カナダ	資本財・サービス	5.2%
5 テキサス・インスツルメンツ	米国	情報技術	3.9%
6 コカ・コーラ・ユーロパシフィック・パートナーズ	オランダ	生活必需品	3.8%
7 ブロードコム	米国	情報技術	3.7%
8 友邦保険控股（AIAグループ）	香港	金融	3.6%
9 スタンダードチャータード	英国	金融	3.2%
10 イースト・ウエスト・バンコープ	米国	金融	3.1%

出所：インベスコ

上記はマザーファンドのデータを使用しています。比率は対純資産比率です。国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

ロールス・ロイス・ホールディングス

英国/資本財・サービス



企業概要

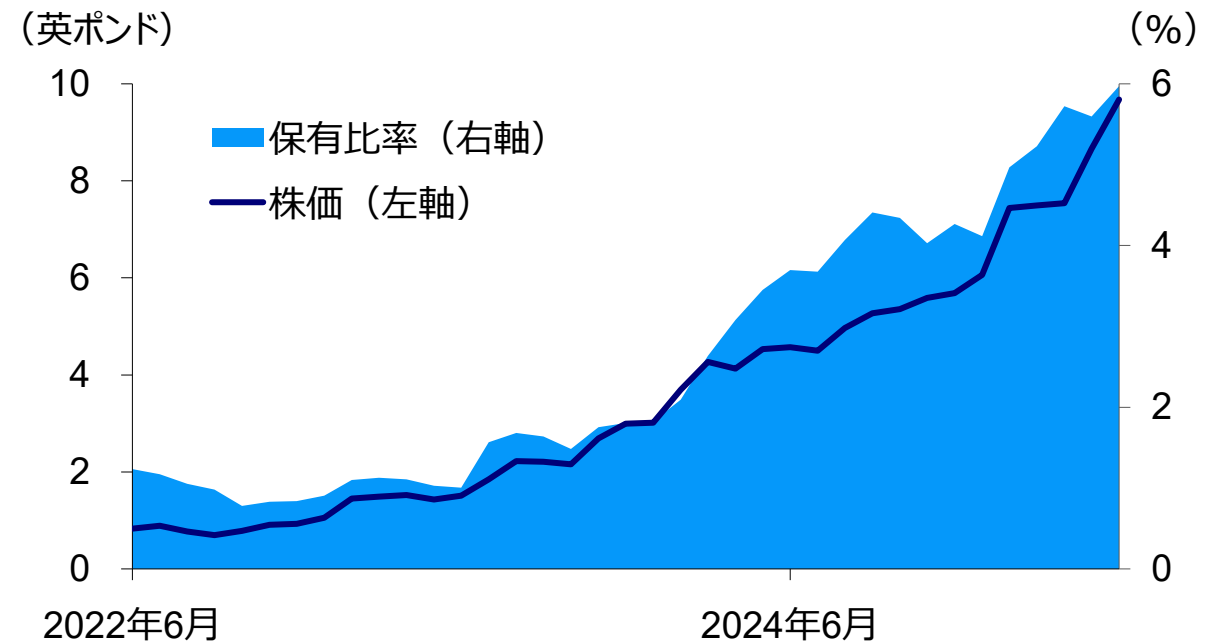
- 民事・軍事向け**航空機や船舶**のエンジンの開発・生産会社
- 航空宇宙、防衛、エネルギーなど幅広い分野にサービスを提供、エンジンの製造に加え、**メンテナンス・サービス**も手掛ける



出所：インベスコ、ブルームバーグ、企業公開情報 国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は運用チームによる2025年6月末現在における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。画像はイメージです。

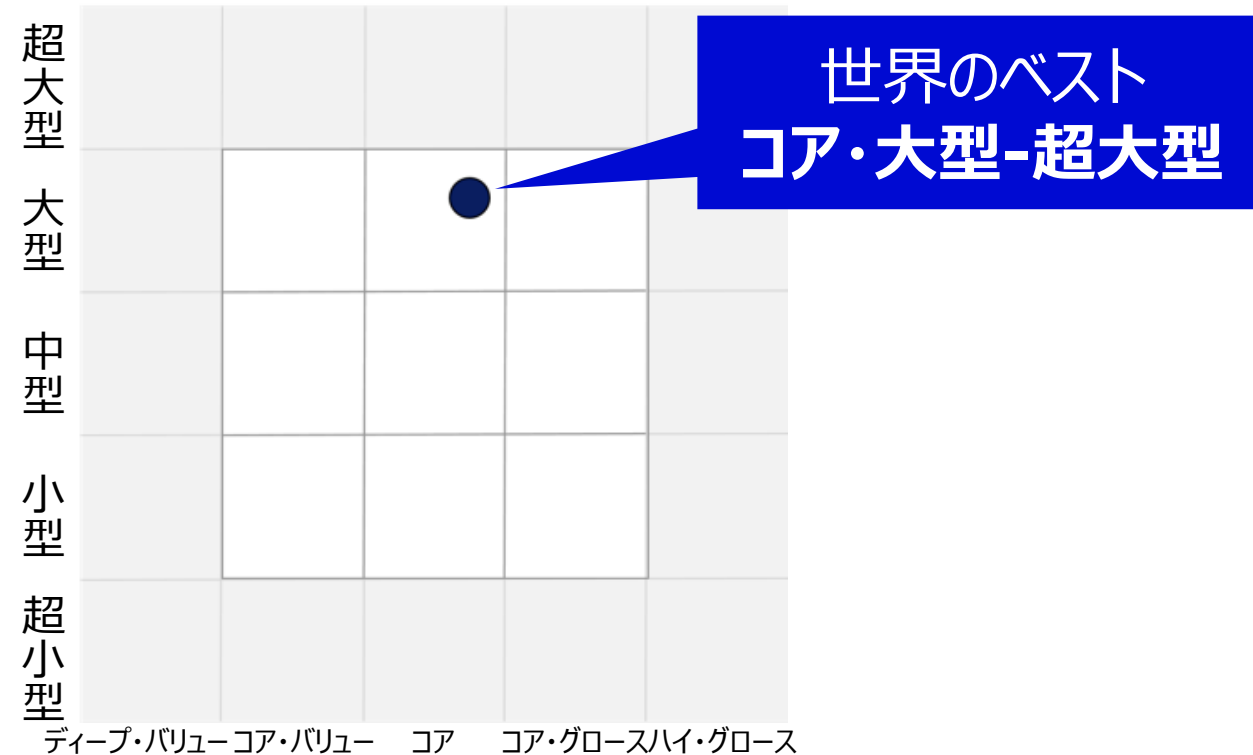
株価と組入比率の推移

期間：2022年6月末～2025年6月末



「世界のベスト」のスタイル分析（保有銘柄ベース）

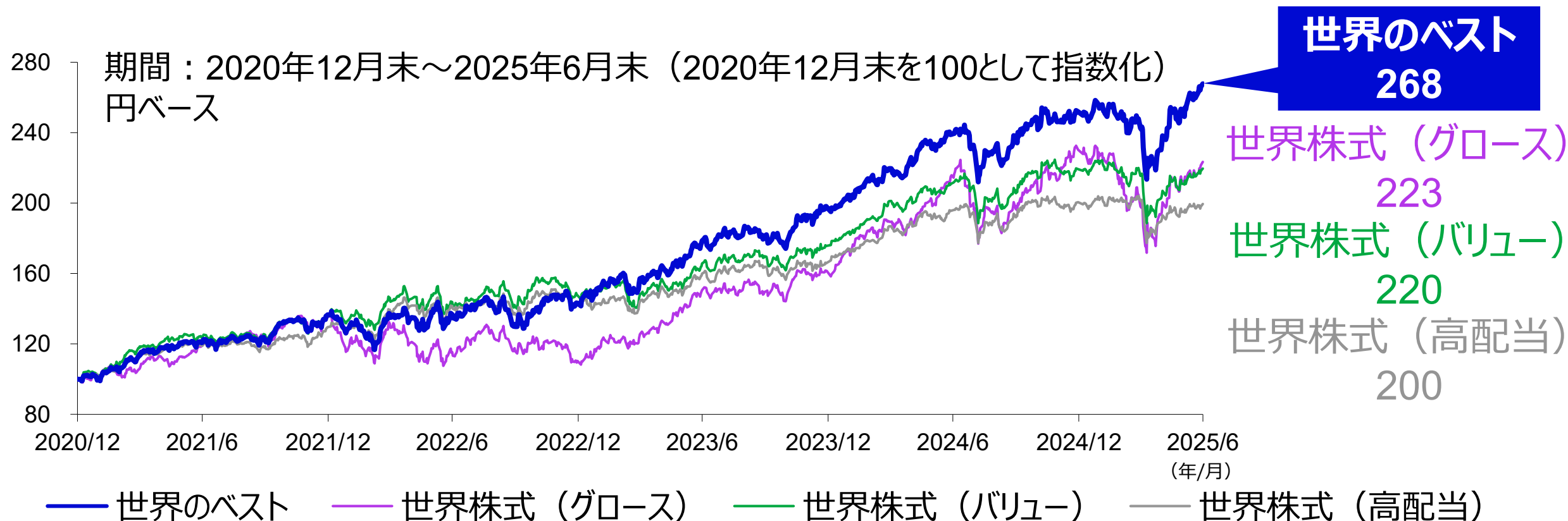
世界のベストの保有銘柄ベース・スタイル分析 2025年3月末現在



出所：インベスコ、モーニングスター・ダイレクト 上記は過去のデータであり将来の成果などをお約束するものではありません。
「Morningstar Directを出所とするデータ・グラフについて」をご確認頂くようお願いいたします。

主要スタイル指数と世界のベストの運用戦略（円ベース）②

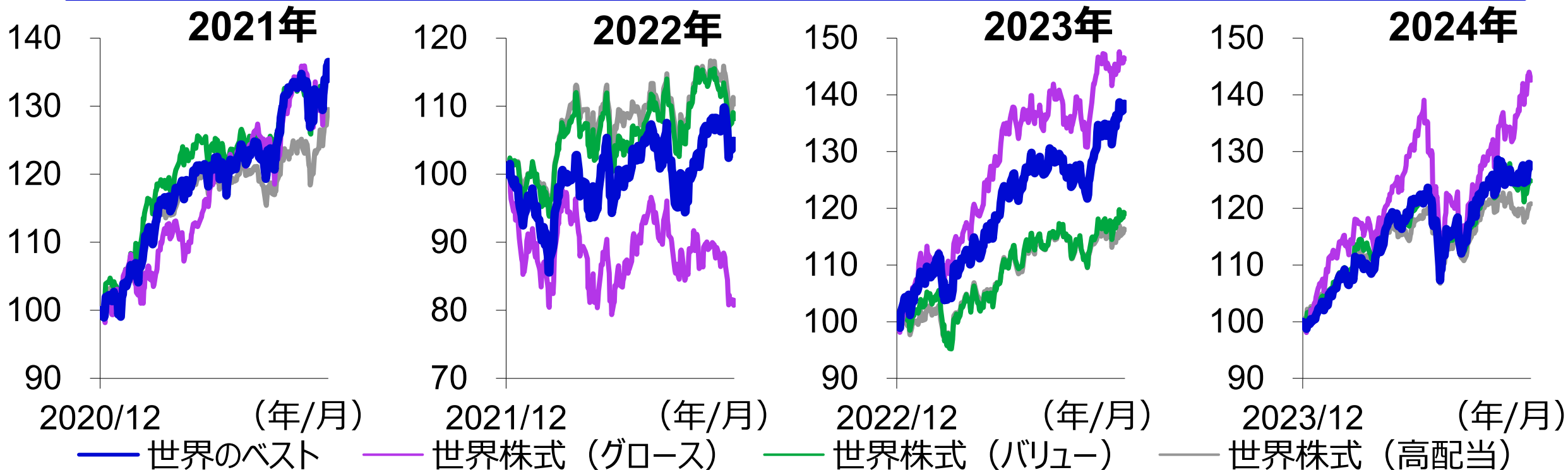
世界のベストはマザーファンドのものです。世界のベストの運用戦略をインデックスと比較するためにお示ししています。マザーファンドには信託報酬（年率1.903%（税込））はかかりません。実際の各ファンドの運用実績とは異なります。各ファンドの設定来の運用実績は「設定来の基準価額推移」をご参照ください。



出所：ブルームバーグ、インベスコ 世界のベストはマザーファンド（信託報酬控除前）を使用。世界株式（グロース）は、MSCIワールド・グロース・インデックス（米ドルベース）、世界株式（バリュー）は、MSCIワールド・バリュー・インデックス（米ドルベース）、世界株式（高配当）は、MSCIワールド・高配当利回り・インデックス（米ドルベース）。すべて配当込み。当ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

主要スタイル指数と世界のベストの運用戦略（円ベース）①

世界のベストはマザーファンドのものです。世界のベストの運用戦略をインデックスと比較するためにお示ししています。マザーファンドには信託報酬（年率1.903%（税込））はかかりません。実際の各ファンドの運用実績とは異なります。各ファンドの設定来の運用実績は「設定来の基準価額推移」をご参照ください。



出所：ブルームバーグ、インベスコ 左グラフ期間：2020年12月末～2021年12月末（2020年12月末を100として指数化）、左中グラフ期間：2021年12月末～2022年12月末（2021年12月末を100として指数化）、右中グラフ期間：2022年12月末～2023年12月末（2022年12月末を100として指数化）、右グラフ期間：2023年12月末～2024年12月末（2023年12月末を100として指数化）世界のベストはマザーファンド（信託報酬控除前）を使用。世界株式（グロース）は、MSCIワールド・グロース・インデックス（米ドルベース）、世界株式（バリュー）は、MSCIワールド・バリュー・インデックス（米ドルベース）、世界株式（高配当）は、MSCIワールド・高配当利回り・インデックス（米ドルベース）。すべて配当込み。当ファンドの基準日の前日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。ベンチマークは、＜為替ヘッジあり＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、＜為替ヘッジなし＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

世界のベストの魅力

1 株式投資の王道



2 好調なパフォーマンス



3 差別化されたポートフォリオ



運用チームが考える主な投資機会

世界のベストの運用チーム



スティーブン・アネス

運用責任者 ポートフォリオ・マネジャー
兼グローバル株式チーム・ヘッド

当社グループ在籍 23年
業界経験年数 23年

2025年3月末時点

運用チームのメンバー



魅力的な投資機会はどこに？

運用チームが考える主な投資の着目点と投資機会

着目点

①	相互関税環境下でも揺るがない 競争力
②	不透明な環境も乗り切る 経営力
③	マクロ動向に左右されにくい 市場特性

投資機会

高い参入障壁を持つ企業 銘柄例：カナディアン・パシフィック・カンザス・シティ、 ロールス・ロイス・ホールディングス
優れた資本配分戦略を持つ企業 銘柄例：伊藤忠商事、ブロードコム、 ファーガソン・エンタープライゼズ
独自の成長力を持つ企業 銘柄例：ノボ・ノルディスク、コーペイ

出所：インベスコ

上記は2025年6月末現在における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。

あなたに合った世界のベストは？

決算頻度や為替ヘッジの有無により異なる複数のタイプのファンドがあります。

中長期で資産を
運用したい

例えば…

毎月の資金受け取りが不要であり、
複利効果※を活用した中長期資産形成を
お考えの方

<為替ヘッジあり> <為替ヘッジなし>

(年1回決算型)



NISA「成長投資枠
(少額投資非課税制度)」の対象
ファンドです

定期的に分配金を
受け取りたい

例えば…

定期的に受け取った資金を使いつつ、
資産寿命を延ばすための運用を
お考えの方

<為替ヘッジあり> <為替ヘッジなし>

(毎月決算型)

※ 毎月決算型は、NISAの対象ファンド
ではありません。

※ 相場上昇時にはプラスの複利効果がある一方で、相場下落時には複利効果がマイナスに作用し損失が拡大する場合があります。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。各ファンドの分配方針については、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

設定来の基準価額推移 (1/2)

世界のベスト<為替ヘッジあり> (年1回決算型)



世界のベスト<為替ヘッジなし> (年1回決算型)



■ 基準価額 (課税前分配金再投資)

— 基準価額

出所：インベスコ

基準価額は、信託報酬控除後のものです。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定来の基準価額推移 (2/2)

世界のベスト<為替ヘッジあり> (毎月決算型)



世界のベスト<為替ヘッジなし> (毎月決算型)



■ 基準価額 (課税前分配金再投資)

■ 基準価額

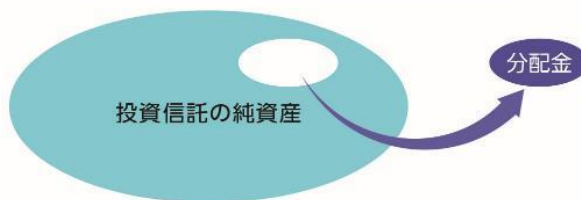
出所：インベスコ

基準価額は、信託報酬控除後のものです。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

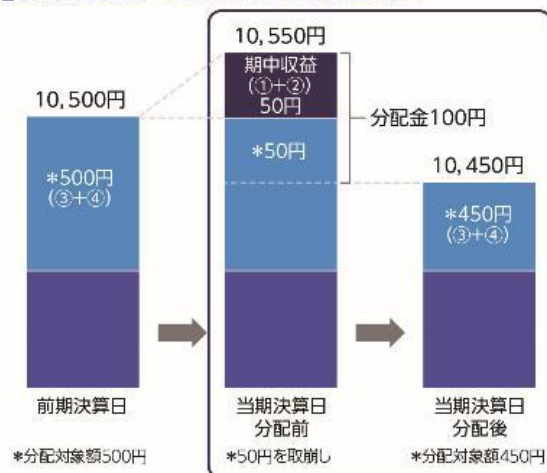
投資信託で分配金が支払われるイメージ



計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

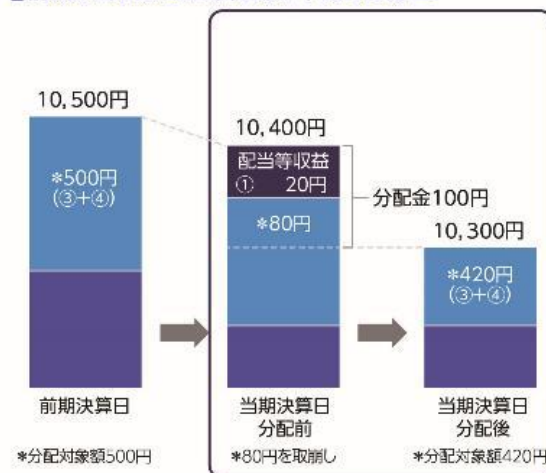
■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合

■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



■ 前期決算日から基準価額が下落した場合

■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

■基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

価格変動リスク	〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。
信用リスク	発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。
為替変動リスク	〈為替ヘッジあり〉為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。 〈為替ヘッジなし〉為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。

* 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意点

ファンド固有の留意点

■ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

投資信託に関する留意点

■ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。

■ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量で有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。

■マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入有価証券等の売買が行われた場合などには、組入有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用／委託会社、その他の関係法人

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料 購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に販売会社が定める**3.30%（税抜3.00%）以内**の率を乗じて得た額

信託財産留保額 換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.30%**の率を乗じて得た額

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	日々の投資信託財産の純資産総額に 年率1.903%（税抜1.73%） を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。
その他の費用・ 手数料	・組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。 ・監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して 年率0.11%（税抜0.10%）を上限 として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 ■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。 ■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。

* 上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社（設定・運用など）	インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
受託会社（投資信託財産の管理など）	三菱UFJ信託銀行株式会社（再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社）
販売会社（受益権の募集・販売の取り扱いなど）	販売会社については、＜ファンドに関する照会先＞にお問い合わせください。

＜ファンドに関する照会先＞ ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。

お問い合わせダイヤル 電話番号：03-6447-3100（受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです）

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

当ファンドの呼称等について

「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）/＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」は、1999年1月に設定され、2016年9月に決算頻度を毎月決算に変更、2017年1月より毎月分配を行っています。また、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）/＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）」は2018年10月に、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（奇数月決算型）/＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）」は2023年9月に設定されました。販売会社によっては一部のファンドのみの取り扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

当動画では、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（毎月決算型）/＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）」、「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（年1回決算型）/＜為替ヘッジなし＞（年1回決算型）」および「インベスコ 世界厳選株式オープン＜為替ヘッジあり＞（奇数月決算型）/＜為替ヘッジなし＞（奇数月決算型）」を総称して「世界のベスト」もしくは「当ファンド」という場合があります。また、決算頻度に応じて「毎月決算型」、「年1回決算型」、「奇数月決算型」、為替ヘッジの有無に応じて「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

ベンチマークについて

＜為替ヘッジあり＞はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）※1、＜為替ヘッジなし＞はMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）※1をベンチマーク※2とします。

※1 ◇MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）の数値です。MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）とは、MSCI Inc.が算出する基準日前営業日のMSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース）の数値を、委託会社が基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場の仲値）で独自に円換算したものです。◇MSCIワールド・インデックスは、MSCI Inc.が算出する株式インデックス（指数）の一つです。MSCIインデックスは、MSCI Inc.の知的財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービスマークです。◇この情報はMSCI Inc.の営業秘密であり、またその著作権はMSCI Inc.に帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。また、ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。◇MSCIワールド・インデックスの構成国や構成銘柄等は、適宜見直しが行われます。したがって、ファンドの投資対象国および投資対象銘柄は事前の予告なく変更されることがあります。

※2 ベンチマークとは、ファンドのパフォーマンス評価やポートフォリオのリスク管理を行う際の基準となる指標のことです。ファンドは、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を得ることを目的としていますが、ベンチマークを上回る投資成果をあげることを保証するものではありません。

【Morningstar Directを出所とするデータ・グラフについて】

© 2025 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1)Morningstar および/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2)複写または配布してはならず、(3)ライセンサーおよび Morningstarが提供する投資等の助言ではなく、(4)正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。Morningstar、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

当動画のお取り扱いにおけるご注意

当動画はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成したものです。当動画は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当動画で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当動画の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当動画作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。

設定・運用は

インベスコ・アセット・マネジメント

商号等 インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み



商号等 株式会社横浜銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第36号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

運用報告会に参加いただき、
ありがとうございました。
アンケートへのご協力をお願いいたします。

▶アンケートはこちら（横浜銀行のウェブサイトへ遷移します）

<https://info.boy.co.jp/n/form/calb/A-WzpVks8uQcEsCpXPwEz>

